

## COE 研究員 (RA) 18 年度 募集要項 (数理科学分野)

矢上研究支援センター

### 1. 制度の趣旨

本制度は、文部科学省研究補助金「21世紀 COE プログラム」の下、研究教育拠点を形成するために、後期博士課程に在籍する若手研究者を非常勤として採用し、21世紀 COE プログラムの研究を推進することを目的としています。

については、以下により COE 研究員 (RA) を募集します。

### 2. 対象分野・採用予定人数

**数理科学分野： 10 数名**

### 3. 対象者

平成18年4月採用時に理工学研究科基礎理工学専攻または経済学研究科経済学専攻の後期博士課程に在籍し、本COEプログラムの研究テーマである「統合数理科学：現象解明を通じた数学の発展」の研究を推進できる者。ただし、日本学術振興会特別研究員 (DC) およびそれに準ずる給与を受けている者は対象外とします。

### 4. 研究 (職務) 内容

統合数理科学の研究に従事。

年度末に、研究実績に関する報告書を提出していただきます。

### 5. 契約期間

平成18年4月1日から平成19年3月31日までの12ヶ月間。

ただし、契約期間中であっても学籍が抜けた場合は、その時点をもって契約を終了します。

### 6. 待遇

給与：月額60,000円 (税込み) 通勤交通費は支給しません。

### 7. 審査 (選考)

提出書類をもとに書類選考を行います。

審査結果は平成18年3月14日に応募者宛に発送します。

### 8. 提出書類・提出先・提出期限

COE 研究員採用申請書 (様式1～様式3)

\*COE 数学のホームページ <http://coe.math.keio.ac.jp/> からダウンロードできます。

提出先：矢上研究支援センター (14 棟 316) COE 数理担当 仁木

(2月28日 (火) 16時 締め切り) 厳守!

## 【 COE 研究員 (RA) 選考の流れ (数学分野) 】

2月17日 (金) 16:00～ RA 募集説明会 14 棟 212 号室

↓  
↓

2月28日 (火) 採用申請書 矢上研究支援センター 16時 締め切り

↓  
↓

3月14日 (火) 選考結果を速達で発送 (採択者には必要書類を同封)

↓  
↓

3月22日 (水) 必要書類 矢上研究支援センター提出 16時締め切り (厳守)  
(この書類が遅れると給与が支払えなくなります)

《 応募にあたっての給与に関する件 》

- ① 年収が120万円の場合の所得税は約13,600円となります。
- ② 年収が103万円を超えると扶養家族としての税金控除の対象外となります。
- ③ 扶養家族として健康保険組合の加入限度額は、健康保険組合によって異なります。(130万の所もあれば103万の所もある) この限度額を超えると親等の扶養家族として加入している健康保険から抜けなければなりません。(被保険者に確認して下さい)

\* 「数理科学」分野の給与は6万円の為、上記はあてはまりませんが他にアルバイト等の収入がある方は対象になる場合がありますので気をつけて下さい。

\* 留学生は「資格外活動許可書」が必要です。

[申請書の作成要領]

**申請書** (様式1) : 枠の幅は変更しないでください。職歴の欄には、TAの経歴についても記入してください。指導教授の推薦状は不要ですが、当方で指導教授に問い合わせることがあります。指導教授と相談の上応募願います。

研究分野は「数学、物理学、地球科学 分野」ですのでこの欄は書き込み不要です。

平成17年4月に博士課程に進学(入学)見込の者は、学籍番号は不要です。

**研究の概要** (様式2) : 枠の幅の少しの変更は構いませんが、1ページに収めて下さい。フォントの大きさは、10p から 12p でお願いします。

**研究業績** (様式3) : 紙が不足する人は、ページを増やしても結構です。フォントの大きさは、10p から 12p でお願いします。

論文 : 投稿済みのものは記載して下さい。発表年代順。別刷りは不要。

全著者名 : 論文題名, 論文誌 巻 (西暦年), 開始ページ — 終了ページ.

本人に下線

略さずにフルスペルで

口頭発表 : 国内会議、国際会議に分ける。(記載法は、原著論文に準ずる。発表者に下線。開催場所を明確に。)

---

《 拠点プログラムの研究課題 》

拠点プログラム名称 : 統合数理科学:現象解明を通じた数学の発展  
拠点リーダー : 前田吉昭

本 COE では、現象解明を通して生み出される独創的な数学手法と数学理論を発信し、数学を用いた現象の理解を単なる応用数学に終わらせない、真の意味で抽象と具体が統合された「統合数理科学」の国際的研究教育拠点を目指しています。

本 COE では、以下の2つの横断的研究グループを編成して研究を進めています。本 COE プログラムの趣旨に沿った統合数理科学の研究を推進できる研究員を募集します。

- ① 非可換幾何学の枠組による非可換多様体と離散的幾何対象の研究
- ② データサイエンスによる非線形現象の解析

(ホームページ <http://coe.math.keio.ac.jp/> 参照)